

# 西新井リーグ杯争奪 学童軟式野球大会 細則

1. ベンチは組合せ番号の若い順を一塁側とし、先攻・後攻はジャンケンにて決定する。
2. 試合は6回戦とし、1時間20分を過ぎて新しいイニングに入らない事とする。
3. 正式試合は4回完了時とする。得点差によるコールドゲームは4回以降7点差とする。降雨、日没、その他事情にて規定回数まで試合が進行していない場合は再試合とする。
4. 延長戦は行わず、規定回数終了時又は制限時間を過ぎて同点の場合は、タイゲームとして正式試合を打ち切り、特別方式を適用し試合を続行する。
  - ※ 特別方式(タイブレイク方式): 継続打順とし、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。すなわち無死一・二塁の状態で行う。
  - ※ 特別方式は最大2イニングまでとし勝敗が決しない場合は抽選によって勝敗を決定する。
5. 投球制限: 投手の投球数は1日当たり70球までとし、これを超える場合は投手を交代しなければならない。但し、70球時であっても打者が完了する迄は投球できる。なお、制限球数内であれば、試合から退いていない選手の再登板は可能とする。
- 5補. 4年生以下の投手の投球制限は60球までとする。以下は球数を60球として同様である。
6. タイムの制限については、捕手又は内野手が1試合に投手の所に行ける回数を6イニングスの試合にあっては3度以内とする。特別方式になった場合は2イニングスに1度認める。
7. 用具については、打者、走者、次打者、走塁コーチは、両側にイヤーフラップの付いたヘルメットを着用し、捕手は捕手用ヘルメット、スロートガード付きのマスク、プロテクター、レガース、ファールカップを必ず着用すること。バットは J. S. B. B マークの入ったものを使用のこと。
8. 抗議の出来る者は、監督か当該プレーヤーいずれか1名とする。但し、ジャッジメントに関する抗議は一切受け付けない。
9. 試合中ベンチ入り出来る大人は当連盟の規定に従い6名以内とし、選手は9名以上25名以内とする。登録は男女を問わない、
10. 背番号については選手0~99(主将10)の20名以内と、監督30、コーチ29、28番とする。上記以外は認めない。なお、ユニフォーム着用の監督・コーチは3名以内とする。
11. 投手に対するアドバイス等は監督がマウンドに行ってもよいが、その際はマウンドまで小走りで往復のこと。ファウルラインへ選手を呼び寄せる事は厳禁とする。
12. 試合開始予定時刻30分前までに集合した選手のみ記載し、監督かコーチが大会本部にメンバー表3枚を提出する。
13. 監督が不在(緊急の用事等)の時はコーチを監督代行として認めるが、監督・コーチ3名ともに不在の時は棄権とする。
14. 対戦相手チーム、選手への個人的な又、審判員に対する品位のないヤジは認めない。注意にもかかわらず続けた場合は審判員の判断により、その当該者を試合から除外する事もできる。なお、応援側もチームの責任とする。
15. 球場によっては、グラウンドの特別ルールが設けられている場合もあるため、審判員・大会本部で確認すること。
16. 令和6年度の本大会においては、DH制は採用しない。
17. 令和6年度の本大会においては、成人用高反発バットの使用を制限しない。ただし、試合を行うグラウンドにおいて使用が認められている場合に限る。
18. 試合中、また球場への往復の事故について主催者側は一切責任はもちません。